

WEリーグ監督フォーラム JFA・WEリーグ共催

「世界一の女子サッカー」の実現に向けて、WEリーグが世界一のリーグとなるよう監督同士でコミュニケーションを深める機会として実施。今回で4回目。

日時：2023年7月14日（金）13:30～15:00

会場：エル・ソーラ仙台 研修室

参加者：

- ・WEリーグ各クラブ監督 10名（EL埼玉・I神戸はチーム事情により欠席）
- ・狩野倫久 WEリーグテクニカルアドバイザー/U-19女子代表監督
- ・小野剛 FIFA Technical Leadership Expert
- ・佐々木則夫 JFA女子委員長
- ・今井純子 JFA女子副委員長/WEリーグ理事
- ・能仲太司 JFA女子副委員長
- ・高田春奈 WEリーグチエア
- ・小林美由紀 WEリーグ常勤理事

※監督フォーラム後、「MS&ADカップ2023 なでしこジャパンvsパナマ女子代表」を視察

WEリーグ監督フォーラム実施報告

【アジェンダ】

- 監督フォーラムの意義
- 狩野テクニカルアドバイザー、各監督自己紹介
- 昨シーズンの振り返り（テクニカル面）
ヨーロッパ強豪国とのデータ比較、
世界のサッカーのトレンド、ディスカッション
- 昨シーズンの振り返り～抱負（各監督より）
- 質疑応答、意見交換
- フォトセッション、事務連絡等



<テクニカル面の振り返り（要点）>

- ・他国リーグと比較して、ゴール前における決定機、フィニッシュの質と精度に関してはもう少し高めていきたいが、1試合あたりのパスやシュートの本数は他国のデータを上回っている。
- ・プレスインテンシティの数値が他国と同等レベルになっている。
- ・ハイプレッシングながら、ファウル数、警告・退場数が他国より圧倒的に少ない。
- ・ヨーロッパでは、ボール保持関係なく仕掛けていく攻撃が行われ、強度の高い、より洗練されたプレッシング（高いディフェンスライン・極度のコンパクトネス）のなか、そのプレッシングをかいくぐっていく攻撃力のあるチームが増えており、WEリーグでも世界基準を意識してプレーを向上させていく必要がある。